

令和5年

第11回猪苗代町農業委員会定例会議録

令和5年10月20日開催

猪苗代町農業委員会

令和5年第11回猪苗代町農業委員会定例総会会議録

1. 日 時 令和5年10月20日（金） 午前9時30分

2. 場 所 猪苗代町農村環境改善センター 3階 農事研修室

3. 出席者

農業委員

1番 渡 部 誠	2番 小檜山 浩 子	3番 大 月 喜 裕
4番 高 橋 二三雄	5番 鈴 木 範 政	6番 鈴 木 正 晃
8番 丸 山 之 子	11番 安 達 壽 人	12番 土 屋 勇 雄

農地利用最適化推進委員

13番 笹 岡 正 人

4. 事務局 局長 長谷川 勲 主幹 佐藤 すずい 主事 渡部 善和

（開議時間：午前9時30分）

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、ただ今から令和5年 第11回猪苗代町農業委員会定例総会を開会いたします。

本日の定例総会の招集につきましては、10月2日告示し、同日付で、農業委員及び関係する農地利用最適化推進委員に告知申し上げたところであります。

それでは、農業委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、出席委員 9名

出席委員 9名、欠席委員 3名、うち届出欠席 2名

欠席委員は、 7番 遠 藤 正 浩 委員

9番 二 瓶 公 司 委員

10番 浦 大 輔 委員であります。

したがいまして、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、過半数以上の出席がありますので、本総会は成立いたしました。

次に、農地利用最適化推進委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、招集告知を申し上げた委員は、1名であります。

出席委員 1名、全員出席であります。

委員の皆様に申し上げます。

各議案の審議の際、調査員としての報告、または、補足説明を求められた場合は、挙手のうえ発言をお願いします。

また、調査員でない委員の方であっても、審議の際の発言は可能でありますので、その際は挙手をお願いします。

なお、推進委員の皆様には表決権がございませんので、採決には参加できません。あらかじめご了承ください。

次に、猪苗代町農業委員会総会 会議規則第18条により、議事録署名委員を、2名指名したいと思います。議長において、指名することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認め、

4番 高 橋 二三雄 委員

11番 安 達 壽 人 委員

の2名を指名いたします。

次に、審議の方法について、お諮りいたします。本日の提出議案については、議案ごとに一括して上程し、逐次審議することとし、採決は挙手による方法といたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

本日の提出議案は、

報告第10号 情報の提供について（賃借料）

報告第11号 農地法第18条の規定による通知について（合意解約）

議案第40号 農地法第3条の規定による許可申請（所有権移転）

議案第41号 農地法第5条の規定による許可申請（所有権移転）

議案第42号 農用地利用集積計画の決定について

以上、5件であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは始めに、報告第10号「情報の提供について（賃借料）」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

報告第10号「情報の提供（賃借料）について」説明いたします。

この報告は、農地法第52条の規定により、情報の提供をしたいので報告するものであります。

2 頁をご覧ください。

提供する情報の内容は、令和4年10月から令和5年9月までの猪苗代町内農地の賃借の実勢価格情報であり、提供の方法としましては、町広報誌を通じて行政区に組回覧をお願いするとともに、町のホームページにも掲載することとしております。

これは、平成21年の農地法の改正により、標準小作料の制度が廃止されましたので、これに替わるものとして、農地の賃借料情報を参考として提供するものであります。

議案書の2頁が賃借料情報、3頁が町内農地の地域区分と位置図となっておりますので併せてご覧ください。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたが、この案件については、報告案件でありますので、審議の対象ではありませんが、質問があればお受けいたします。

質問ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので報告を終結します。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、報告第11号「農地法第18条の規定による通知について（合意解約）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

報告第11号「農地法第18条の規定による通知（合意解約）」について、説明します。

この報告は、農地の賃借契約を解約した旨、賃借契約の当事者から通知がありましたので報告するものであります。

5 頁をご覧ください。

No.1の貸付人は、〇〇の〇〇 〇〇、借受人は、〇〇の〇〇 〇〇であり、解約理由は農地を売買するためであります。

解約地積、貸借期間及び合意解約日等につきましては議案書記載のとおりです。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたが、この案件についても報告案件でありますので、審議の対象ではありませんが、質問があればお受けいたします。

質問ございませんか。

○4 番（高橋二三雄 農業委員）

農地の利用権設定の流れを確認させていただきますが、通常利用権設定の場合は、議案として総会に付されて審議され、承認のもとに公告を以て、効力が発生する。

解約の場合は、今行われたように解約した旨の通知があり、総会で報告されるのみで、解約が成立すると言う流れで間違いありませんか。

○事務局（佐藤 主幹）

はい、その様になります。

○4 番（高橋二三雄 農業委員）

了解いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

その他、質問ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので報告を終結します。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第40号「農地法第3条の規定による許可申請について（所有権移転）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第40号「農地法第3条の規定による許可申請（所有権移転）」について説明いたします。

この議案は、農業委員会の許可の適否を決定したいので審議をお願いするものであります。

7 頁をご覧ください。

No.1 の譲渡人は ○○の○○ ○○（成年後見人 ○○ ○○）、譲受人は、○○の○○ ○○で、字○○110 番 外5筆 田 3,946 m²を、10 a 当たり 280,000 円で 売買するものであります。

譲受人の経営状況等は、議案書記載のとおりであります。

なお、この案件につきましては、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の推進委員の方に調査書に基づく調査をお願いし、提案しております。以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります13番 笹岡 正人 推進委員に報告を求めます。

○13番（笹岡正人 推進委員）

No.1について、令和5年10月8日、申請人 ○○ ○○ 氏の自宅を訪問し、調査書に基づく調査を実施したので、報告します。

本申請の譲渡人 ○○ ○○ 氏は町外在住で ○○ ○○ 氏を成年後見人とし、農地を処分したいとの意向で、該当農地を現在耕作している ○○ 氏へ売買により所有権移転する運びとなったものであります。

申請に対する調査の結果としましては、○○氏は認定農業者であり、農業に常時従事することができると共に、農機具の保有状況や周辺地域との調和要件等から適切に農地の維持管理ができ、許可の要件を満たしていると思われますので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

1番 渡部 誠 農業委員に申し上げます。
調査報告に補足があればお願いします。

○1番（渡部誠 農業委員）

私からは、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第40号のNo.1について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第40号のNo.1は申請のとおり許可することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第41号「農地法第5条の規定による許可申請について（所有権移転）」

を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第41号「農地法第5条の規定による許可申請（所有権移転）」について説明いたします。

この議案は、農業委員会の意見を決定したいので審議をお願いするものであります。

9頁をご覧ください。

No.1の譲渡人は、〇〇の〇〇 〇〇、譲受人は、〇〇の有限会社 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇 であり、申請地は字〇〇549番1 畑 1筆 244㎡ 及び 田 1筆 1,556㎡ であります。

申請事由としましては、譲受人は該当地東側の店舗で、車検整備や中古車販売業を営んでおりますが、店舗で取り扱う整備車両や販売用中古車の増加により、これらの保管場所を広げる必要から、買い受けて利用するものであります。

議案説明資料の3・4・5頁が、申請地の案内図、公図、土地利用計画図となっておりますので、併せてご覧願います。

なお、この案件につきましても、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の農業委員及び推進委員の方に調査書に基づく調査と現地調査をお願いし、提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります1番 渡部 誠 農業委員に報告を求めます。

○1番 渡部誠 農業委員

議案第41号のNo.1について、令和5年10月10日、午前9時30分、私と笹岡正人推進委員、申請者代理人、農業委員会事務局2名立会いのもと、現地調査を実施しましたので報告いたします。

申請地は、〇〇行政区の北東部に位置する農振農用地区域外（白地）の農地です。

譲受人は、該当地東側の店舗兼事業所で自動車修理や車検代行サービス、中古車販売業を営んでおりますが、現在、大型バスやトラックの車検整備、販売用中古車等、取り扱う車両の台数が増えており、整備・展示車両の保管場所の確保が必要となっております。

これらの保管場所として、近隣に土地を探していたところ、今般譲渡人より該当地を売却したい旨の話を受け、本申請に至ったものであります。

申請地は、町道青年の家線の北側に位置し、西側は私道を挟んで雑種地、北側は水路を挟んで山林、東側は農道を挟んで譲受人の所有する車両置場となっており、付近の農地や農作物、また農業用排水施設等にも影響は無いものと思われます。

以上の内容から、転用することに問題はなく、許可の要件を満たしていると判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

13番 笹岡 正人 推進委員に申し上げます。
調査報告に補足があればお願いします。

○13番（笹岡正人 推進委員）

私からは、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

○8番（丸山之子 農業委員）

本申請地の北側水路は、下流側が私たち部落の水路となっており、自動車などの廃油が水路に流れ込んだりしないか心配されるのですが、その辺のところは大丈夫なのでしょうか。

○1番（渡部誠 農業委員）

現地調査を行なった内容では、特に問題はないと思われます。

○8番（丸山之子 農業委員）

はい、了解しました。

例えば、〇〇〇から出た泡だらけの水が水路に流れ込んで、その水で下流域の私たちは米作りをしていたりする訳で、これで大丈夫なのかと思ってしまいます。

その辺のところが心配になったので、質問してみました。

○事務局（佐藤 主幹）

補足説明をさせていただきます。

転用の際に提出していただく申請書の様式の中に、土砂流出等の災害防止措置や、取水・排水計画、周辺農地に係る営農条件に支障を及ぼさないための措置等の記載項目がございまして、それらの対策を記載して頂いたうえで、申請書の受付けを行っています。

今回の申請地についても、雨水は南側の町道側溝水路に流すため、支障は生じない。また、北側境界部は、隣地に土砂流出等がないよう強固な土留工事を行うと記載されており、それでも問題が生じた場合は、事業者の責任において解消すると約束しております。

○8 番（丸山之子 農業委員）

はい、了解しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

その他、意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第41号のNo.1について、申請のとおり許可相当との意見を付して、県に進達することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第41号のNo.1については、申請のとおり許可相当との意見を付して県に進達することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第42号「農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第42号「農用地利用集積計画の決定について」説明いたします。

この議案は、猪苗代町長から農業委員会の決定を求められたので審議をお願いするものがあります。

11頁をご覧ください。

農地中間管理事業の機構借入れ分であります。

No.1は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 6筆 9,696 m²を 期間11年 10a当たり10,000円で、
〇〇の 農事組合法人 〇〇〇〇 代表理事 〇〇 〇〇 に 福島県農業振興公社が借受け、
借受者に貸し付けるものであります。

次に、12頁は、これと同じ内容の公社貸付分であり、議案書記載のとおりであります。

なお、この案件につきましては、申請者の申請に基づき、町が作成した「農用地利用集積計画書」により、提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、採決を行います。

議案第42号について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第42号については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で、本総会に付議されました案件は、すべて終了いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

ここで私の方から、申請書審査委員会への諮問について申し上げます。

「令和6年度農作業標準賃金表の策定について」であります。

これは、農地法の規定による情報の提供をするものであり、農作業の受委託作業賃金の参考としていただくため策定するものでありますので、関係者とともに協議のうえ策定をお願いするものであります。

以上、検討をお願いし、結果の報告は、令和6年1月の定例総会までに報告できますようよろしくお願いします。

なお、初めての申請書審査委員会ですので、参集するメンバー等につきましては、事務局長より報告いたします。

○事務局（長谷川 事務局長）

私の方から、申請書審査委員会の担当委員について、ご報告いたします。

7月20日の農業委員会臨時総会におきまして、土屋会長より任命されました申請書審査委員会の委員が対象となり、任期は令和5年7月20日から令和8年7月19日までの3年間で、農業委員の任期と同じとなっております。

委員の方のお名前ですが、委員長が5番 鈴木 範政 委員、副委員長が6番 鈴木 正晃 委員、委員として3番 大月 喜裕 委員、同じく委員として11番 安達 壽人 委員、同じく委員として9番 二瓶 公司 委員であります。その他、アドバイザーとして土屋 勇雄 会長にご出席をお願いしたいと思います。

今後の予定としましては、1月の農業委員会総会で報告の予定でございますので、12月に申請書審査委員会を開催いたしまして、決定していきたいと思っております。

なお、日時等の詳細につきましては、委員の方と今後日程調整をしながら、後ほど通知いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上が、申請書審査委員会への諮問でございました。

それでは、これをもちまして、令和5年 第11回猪苗代町農業委員会定例総会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

(閉会時間：午前9時55分)

本委員会定例総会の内容を記録し、相違ないことを証明するため議長及び議事録署名人はここに署名する。

令和 5年10月20日

議 長 (会 長)

署 名 人

署 名 人